

公益社団法人 日本3B体操協会
平成25年度 事業報告書

I 法人の概況

1 設立年月日 平成24年5月1日

2 定款に定める目的

この法人は、3B体操の普及を図ることで、国民の健康意識の向上と心身の健やかな生活を推進すると共に、スポーツの振興に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 乳幼児から小中学生、その父母のスポーツ実践と体力向上・健康増進の為に3B体操の指導と支援
 - (2) 成人の疾病の予防と、健康な社会生活推進の為に3B体操の指導と支援
 - (3) 高齢者・障がい者の安全な日常生活と健康寿命を伸ばす為に3B体操の指導と支援
 - (4) 3B体操指導者の養成と技能の向上を図る教育
 - (5) 3B体操教室の成果と運営に関する調査・研究
 - (6) 健康・スポーツ団体との交流と連携
 - (7) その他、この法人の目的達成の為に必要な事業
- 2 前項の事業は日本全国において行うものとする。

4 所管官庁に関する事項

内閣府

5 社員・指導者会員・登録会員推移

年度	社員	指導者会員					登録(一般)
		会員数	入会	復活	休会	退会	受講者
2011(H23)	41	2,560	290	21	-170	-7	322,688
2012(H24)	39	2,694	249	24	-172	-9	362,411
2013(H25)	44	2,786	236	20	-180	-10	351,543

6 主たる事務所

主たる事務所：大阪府大阪市都島区中野町三丁目5番3号

7 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
代 表 理 事	田 中 み 代	常 勤	代表
理 事	森 下 は る み	非常勤	お茶の水女子大学名誉教授
理 事	長 谷 川 好 子	非常勤	
理 事	熊 瀬 多 恵 子	非常勤	
理 事	佐 藤 明 美	非常勤	
理 事	木 幡 眞 由 美	非常勤	
理 事	中 村 伸 子	非常勤	
理 事	渡 部 け い 子	非常勤	
理 事	小 山 朋 江	非常勤	
監 事	菊 地 靖	非常勤	公認会計士
監 事	三 島 初 子	非常勤	

8 職員に関する事項

職員数		前期末比増減	平均年齢
男 子	0名	0名	歳
女 子	7名	0名	48歳
合計又は平均	7名	0名	48歳

9 承認可に関する事項

該当なし

II 事業の状況

1 事業の実施状況

平成 25 年度 指導者・指導士認定・教育事業報告
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

- ・ 3 B 体操指導者の養成と技能の向上を図る教育（第 4 条 第 1 項 4 号）

指導者の養成及び指導技術の向上を目的とする

① 指導者検定

各地区毎に全国で計 84 回、指導者養成数は計 236 名

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	6	3	16	10	2	3	2	
人数	13	11	41	34	6	13	9	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	2	9	2	2	9	1	17	84
人数	8	26	4	5	17	4	45	236

② 指導士検定

各地区毎に全国で計 18 回、指導士養成数は計 121 名

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	1	1	1	1	1	1	1	
人数	3	6	25	11	4	5	5	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	1	4	1	1	1	1	2	18
人数	3	16	1	2	5	2	33	121

③ 指導者・指導士に

- ・ 支部単位での研修会 毎月 5 時間以上
 - ・ グループでの勉強会 3 時間以上
 - ・ 指導士に事前研修 3 時間
- } 合計 6,836 回 参加者延べ 86,977 名で実施

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	359	417	1,337	786	168	182	387	
人数	4,266	4,834	12,180	9,441	2,562	2,646	4,626	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	416	485	40	139	431	237	1,452	6,836
人数	6,823	9,455	1,636	3,023	3,686	4,207	17,592	86,977

④ 指導士研究会

指導士に養成コースの為の1泊2日の宿泊研修を各地区・支部及びグループ単位で実施
合計 53 回参加者 1,526 名

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	4	3	9	3	1	1	2	
人数	64	102	200	123	25	56	65	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	4	4	6	2	1	3	10	53
人数	100	186	97	49	71	101	287	1,526

⑤ 研修実技創作・伝達勉強会

伝達勉強会（平成 25 年度分） 1 月 9 日（水）～10 日（木） 38 名参加

平成 26 年度 研修実技

前打合せ会議 7 月 30 日（火） 11 名参加

創作勉強会 9 月 3 日（火）～ 4 日（水） 12 名参加

まとめ会議 9 月 17 日（火） 12 名参加

伝達勉強会 10 月 4 日（金）～ 5 日（土） 40 名参加

⑥ 指導者教育事業 パーソナルトレーナー齊藤邦秀先生講習会

パーソナルトレーナー齊藤邦秀先生に講師を依頼し、指導者の資質向上のための講習会を
全国 14 ヶ所参加者 1,911 名（別紙、報告書あり）

⑦ 森下はるみ先生講習会～指導のてびき勉強会～（関東地区）

5 月 3 日（金） 江戸東京博物館ホール 参加者 306 名

⑧ 検定勉強会

- ・ 5 地区 8 回 145 名
 - ・ 28 支部 108 回 2,347 名
- } 合計 116 回参加者 2,492 名で実施

⑨ その他の勉強会

指導者の指導力の向上と教育を目的とした勉強会

- ・ 6 地区 15 回 414 名
 - ・ 14 支部 42 回 859 名
- } 合計 57 回参加者 1,273 名で実施

⑩ 指導士担当者会議

- ・ 4 地区 7 回 86 名
 - ・ 12 支部 152 回 1,415 名
- } 合計 159 回参加者 1,501 名で実施

・ 3 B 体操教室の成果と運営に関する調査・研究 (第 4 条 第 1 項 5 号)

① 調査・研究

最新の運動情報の収集・調査

・「指導のてびき」改訂に伴う調査

指導者、指導士養成の為に教材「指導のてびき」を平成 27 年に改訂予定である為、現在使用している「指導のてびき」の内容の見直しや最新情報の収集等を行う。
来年度も引き続き実施する。

3 B 体操の運動効果を高める用具の開発

・新やわらかボール製作の為に調査と研究

ボール工場への視察と、ボール強度や耐久力の研究を行う。

外部講師依頼講習会

・グラハムテクニック (関東地区)

1 月 31 日(木) 関東地区本部にて 8 名参加で実施

【目的】

骨盤と脊柱の動かし方を、グラハムテクニックから学び、骨盤と脊柱の矯正と強化を図る方法を研究し、そのテクニックを 3 B 体操に活かせるようさらに研究を行う。

【内容】

グラハムテクニックストレッチング～骨盤と脊柱をゆがみなく動かすテクニック
～ステップテクニック

【成果】

ダンスが基本のテクニックなので習得する事も、3 B 体操に活かす事も難しいと感じた。継続は考えていない。

・ヒップホップでスキルアップ (北関西地区)

八木スポーツフォアオールにて 3 月～11 月に合計 7 回参加者 134 名で実施

【目的】

ヒップホップという異なる分野で活躍されている富貴正弘先生に講師を依頼し、受講することにより指導者のスキルアップを図る。

【内容】

ヒップホップ実技講習

【成果】

ヒップホップという、別のジャンルのリズムやステップなどで動くことに新鮮さを覚え、刺激を受けて活動意欲が増すなど、指導者のスキルアップにつながっている。

【今後の取組】

来年度は指導者の教育事業として合計 7 回実施。

② その他 各年代の健康問題に関する調査、研究等

③ 他団体の情報収集の為、外部主催行事へ参加

・生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2013 (宮崎県宮崎市)

1月25日(金) 26名参加

【目的】

スポーツ・レクリエーション団体、自治体、学識者。産業関係者など各界の方たちが一堂に会し、日本における生涯スポーツの今後について研究協議や意見交換が行われる会議に参加する事で3B体操の普及活動の参考とする

平成25年度 子育て・ジュニア支援事業報告
(平成25年1月～平成25年12月)

・乳幼児から小中学生、その父母のスポーツ実践と体力向上・健康増進の為の3B体操の指導と支援(第4条 第1項 1号)

運動を通して子育て支援を行い、地域での拠点(教室等)の拡大を目指す

① ジュニア実技創作・伝達勉強会

前打合せ会議 1月8日(火) 10名参加

創作勉強会 2月8日(金)～9日(土) 10名参加

まとめ会議 2月19日(火) 10名参加

伝達勉強会 3月12日(火)～13日(水) 37名参加

② 子育て・ジュニア支援協会助成事業

子育て・ジュニア分野の普及を目的に講習会を実施し、協会より助成を行う
(別紙、報告書あり)

・子育て支援講習会

合計78回参加者総数891組1,932名で実施。協会より600,306円助成。

・ジュニア支援講習会

合計79回参加者総数2,064名で実施。協会より580,783円助成。

【成果】

3年計画の2年目。合計157回の講習会を実施したうちに教室開設43や講座依頼27と1年目に比べ、成果が上がった。(平成24年度、教室開設28 講座依頼15) 継続して事業を実施した事で、着実に成果に結びついている。来年度も実施する。

	教室開設	講座依頼	会員増加 (既存教室 への入会)	講座の 前向きな 検討	合 計
子育て支援	20	12	13	29	74
ジュニア支援	23	15	7	31	76
合 計	43	27	20	60	150

③ 災害地復興支援事業

- ・ 東日本大震災（浦安市）復興支援チャリティー第6回ジュニア3B関東・北関東大会
7月13日（土）浦安市運動公園総合体育館にて参加者2,430名で開催
会場の皆様よりの義援金と大会運営費より343,603円を浦安市へ寄付

④ 地区・支部主催 無料体験会

- ・ 2地区51回1,118名
 - ・ 25支部584回10,931名
- 合計635回参加者12,049名で実施

⑤ 地区・支部主催 有料体験会

- ・ 1地区2回36名
 - ・ 11支部79回1,655名
- 合計81回参加者1,691名で実施

⑥ 行政他外部団体主催 無料講習会

- ・ 2地区11回414名
 - ・ 23支部1,071回38,888名
- 合計1,082回参加者39,302名で実施

⑦ 行政他外部団体主催 有料講習会

- ・ 1地区168回5,196名
 - ・ 6支部60回1,615名
- 合計228回参加者6,811名で実施

⑧ 大会及びつどい

- ・ 6地区6回7,179名
 - ・ 9支部11回2,896名
- 合計17回参加者10,075名で開催

⑨ 勉強会

- ・ 11地区18回554名
 - ・ 32支部72回2,070名
- 合計90回参加者2,624名で実施

⑩ 行政他外部団体主催イベント

- ・ 1地区1回200名
 - ・ 16支部33回3,975名
- 合計34回参加者4,175名で参加

平成 25 年度 成人・ファミリー支援事業報告
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

- ・成人の疾病の予防と、健康な社会生活推進の為の 3 B 体操の指導と支援 (第 4 条 第 1 項 2 号)
- ・健康・スポーツ団体との交流と連携 (第 4 条 第 1 項 6 号)

① 第 67 回全国レクリエーション大会・福岡大会 3 B 体操全国交流大会 (福岡県北九州市)

10 月 27 日(日)北九州市総合体育館にて、3 B 体操全国交流大会を 7,338 名参加で開催。午前の部は、ジュニア大会とし、ジュニア会員や一般参加の子ども達と楽しくトレーニングやゲームで体を動かし、保護者の方も参加して頂き場内が盛り上がった。午後の部は、一般参加者との交流タイムや各地区の会員、指導者による発表タイムで日頃の成果を披露した。多くの行政関係者の方々にご来賓として参加頂き、とても反響が大きく成人、高齢者、子育て支援センター等からの講座依頼が増加した。これからも地域の皆様の心と体の健康づくりに寄与していきたい。

② 第 68 回 国民体育大会 スポーツ祭東京 2013

デモンストレーションとしてのスポーツ行事・総合開会式

9 月 15 日(日)新宿コズミックスポーツセンターにてデモスポ行事 3 B 体操を参加者 1,167 名で開催。一般参加者、ジュニア、会員による体験交流会と発表タイム。最後に東京指導者が演技発表を行った。

9 月 28 日(土)味の素スタジアムで総合開会式が開催され、関東地区、北関東地区指導者 430 名で出演。今回の国体はオリンピックが東京に決定し、デモスポ、開会式とも盛大に開催された。大会終了後、多くの地域で 3 B 体操の問合せがあり、教室開設や会員入会につながるよう健康づくりの 3 B 体操の素晴らしさを普及していく。

③ 災害地復興支援事業

- ・復興支援事業 岩手県支部 3 B 体操のつどい (北東北地区)

10 月 22 日(火) 宮古市民総合体育館シーアリーナにて参加者 812 名で開催
協会より大会運営費の一部を助成

【目的】

沿岸部の復興を支援することを目的に、誰にでもできる運動の機会を提供することにより、健康づくりと生涯スポーツの振興に寄与する。手をつなぎ支え合う 3 B の絆で笑顔の輪が広がることを願い開催する。

【内容】

招待者及び一般参加者と会員の皆さんとの交流。会員演技発表等。

【成果】

仮設住宅の皆さんが快く参加して下さったお蔭で目的を達成することができた。復興の一助に…の思いでこれからもボランティア活動を通じ、3 B 体操をしながら元気を取り戻して頂きたいと思う。釜石での講座依頼を頂けた。

その他、各地区・支部に於て復興支援を目的とした大会及びつどいや講習会・体験会を実施。義援金箱設置、大会運営費や参加費の一部を義援金として寄付。義援金合計 1,015,093 円。(別紙、報告書あり)

- ④ 地区・支部主催 無料体験会
 - ・ 3 地区 80 回 973 名
 - ・ 23 支部 656 回 7,202 名 } 合計 736 回参加者 8,175 名で実施

- ⑤ 支部主催 有料体験会
5 支部 19 回参加者 586 名で実施

- ⑥ 行政他外部団体主催 無料講習会
 - ・ 2 地区 18 回 471 名
 - ・ 18 支部 359 回 12,018 名 } 合計 377 回参加者 12,489 名で実施

- ⑦ 行政他外部団体主催 有料講習会
 - ・ 2 地区 139 回 2,250 名
 - ・ 5 支部 17 回 832 名 } 合計 156 回参加者 3,082 名で実施

- ⑧ 大会及びつどい
一般市民及び一般会員を対象に行う
 - ・ 3 地区 6 回 3,078 名
 - ・ 29 支部 60 回 18,035 名 } 合計 66 回参加者 21,113 名で開催

- ⑨ 勉強会
 - ・ 1 地区 2 回 134 名
 - ・ 2 支部 2 回 69 名 } 合計 4 回参加者 203 名で実施

- ⑩ 行政他外部団体主催イベント
 - ・ 1 地区 2 回 1,112 名
 - ・ 35 支部 110 回 20,795 名 } 合計 112 回参加者 21,907 名で参加

平成 25 年度 高齢者・障がい者支援事業報告
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

- ・高齢者・障がい者の安全な日常生活と健康寿命を伸ばす為の 3 B 体操の指導と支援
(第 4 条 第 1 項 3 号)

① 支部主催 無料体験会

12 支部 138 回参加者 2,962 名で実施

② 支部主催 有料体験会

2 支部 35 回参加者 760 名で実施

③ 行政他外部団体主催 無料講習会

- ・ 2 地区 31 回 504 名
- ・ 12 支部 560 回 13,122 名

} 合計 591 回参加者 13,626 名で実施

④ 行政他外部団体主催 有料講習会

- ・ 1 地区 350 回 6,162 名
- ・ 5 支部 50 回 1,297 名

} 合計 400 回参加者 7,459 名で実施

⑤ 勉強会

- ・ 6 地区 19 回 512 名
- ・ 15 支部 30 回 1,200 名

} 合計 49 回参加者 1,712 名で実施

⑥ 行政他外部団体主催イベント

3 支部 4 回参加者 242 名で参加

平成 25 年度 共 通
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

3 B 体操の全事業を実施するための方針の決定、企画検討、実施のための各種打合せ等の会議を行う

① 災害地復興支援事業

北東北・東北・北関東地区にて災害地復興支援としての取組へ協会より助成を行う
(5 年計画、本年度 3 年目)

・ボランティア事業 (北東北地区)

通年で岩手県陸前高田市、大船渡市、釜石市、宮古市にてボランティア支援活動を行う。合計 108 回参加者総数 1,483 名。

【目的】

沿岸被災地の仮設住宅の方々と3B体操を通して楽しく交流し、日頃の運動不足を解消して元気になって頂き、復興の手助けとなる活動を行う。

【内容】

沿岸地域の指導者を中心に、被災された方がいる仮設住宅の集会場や地元のコミュニティセンター等で3B体操講習会を実施。その後、釜石市等の仮設住宅へも訪問し3B体操への理解と普及につなげる。

【成果】

沿岸地域の指導者だけでなく岩手県支部全体でボランティア活動に関わることができた。釜石市は初めての訪問だったが、復興支援事業に参加して頂いたり、今後も「お茶っこサロン」からの依頼を頂け、長く3Bを楽しんで下さる反応があつてよかった。

・東日本大震災ボランティア活動支援事業（東北地区）

通年で東北地区3県においてボランティア活動支援を行う。

合計93回参加者総数1,546名。

【目的】

被災から2年が経ち、避難生活も落ち着きつつあるが、長引く不便な仮設暮らしと将来の見通しがたたない不安から、心身ともに疲労困憊している被災者の健康回復・維持管理に尽力しつつ、信頼関係を深め助け合うことを目的とする。

【内容】

主に仮設住宅での講習会。運動を主体とし、可能な場合にはその後、話し相手となり心のケアも行う。

【成果】

定着化しつつあり、中高年の被災者からは継続を希望して頂いている。3B用具にも慣れてきて、講習会の雰囲気は良好。参加者の中から指導者が誕生し、被災者へのボランティア活動を展開している。他の小規模仮設からも希望があるが、残念ながら指導者の手が足りずに応えられないケースもある。出来るだけ可能な範囲で受け入れていけるようにしていきたい。

・双葉町震災復興支援事業（北関東地区）

福島県双葉町より埼玉県加須市旧騎西高校に避難している方に1月～3月の間、ボランティア活動を行う。合計5回参加者総数25名で実施。

【目的】

震災の被害から心を痛めている皆さんに少しでも楽しんで頂き、明日への希望が持てるようになって頂きたく支援を行う。

【内容】

ストレッチング・準備体操・手あそび・マッサージ・ベルを使つての運動など音楽に合わせて楽しいひとときを一緒に過ごす。

【成果】

3B体操を行政や住民の皆さんに知って頂けた。回数を重ねる中で、参加者同士のコミュニケーションも図れ、3B体操を心待ちにして頂いている。

② 教室数

詳細は「地区別対象別教室・講座・受講者数一覧」参照

平成 24 年 12 月末教室数 9,770 教室 (内 新開設 259 教室)

平成 25 年 12 月末教室数 10,147 教室 (内 新開設 377 教室)

(内訳)

対象別	ベビーとお母さん	親子	ジュニア	成人	高齢者	障がい者	その他	計
24 年 12 月末	181	659	653	6,311	1,560	192	214	9,770
比率	2%	7%	7%	64%	16%	2%	2%	100%
25 年 12 月末	174	657	695	6,505	1,706	218	192	10,147
比率	2%	6%	7%	64%	17%	2%	2%	100%

③ 定例会

月 1 回の運営打合せ会議を実施

④ 地区代表者会議

3 B 体操会館にて合計 5 回実施

	実施日	参加者数
第 1 回	1 月 23 日(水)	16 名
第 2 回	3 月 21 日(木)	28 名
第 3 回	6 月 26 日(水)	17 名
第 4 回	9 月 25 日(水)	18 名
第 5 回	11 月 27 日(水)	36 名

⑤ 事業拡大の為の拠点づくり

更なる 3 B 体操公益事業拡大のための拠点づくり計画を続行

現在の進捗状況(平成 25 年 12 月末現在)

地区	購入建設地・予定地	進捗状況
北東北	岩手県盛岡市	平成 24 年 11 月 引越し済
東北	福島県福島市	平成 24 年 6 月 完成・引越し済
北関東	埼玉県上尾市	検討中
関東	東京都墨田区又は江東区	検討中
北陸	富山県高岡市	平成 25 年 3 月 完成・引越し済
静岡	静岡県静岡市	検討中
中部	愛知県名古屋市	平成 26 年 1 月 契約予定
関西	兵庫県尼崎市	平成 24 年 4 月 完成・引越し済
山陰	島根県松江市	平成 23 年 11 月 引越し済

地区	購入建設地・予定地	進捗状況
中国	広島県福山市	平成24年9月 完成・引越し済
四国	愛媛県四国中央市	平成24年12月 完成
九州	福岡県福岡市	平成23年11月 完成・引越し済

⑥ 運営会議

地区運営会議	13 地区 129 回 621 名	} 合計 561 回参加者 2,664 名で実施
支部運営会議	36 支部 432 回 2,043 名	

⑦ 地区会議

地区スタッフ・支部長・各セッション担当者での会議を全国 183 回参加者 2,636 名で実施

⑧ 支部会議

支部長・グループ長・各セッション担当者での会議を全国 643 回参加者 6,804 名で実施

⑨ その他の会議

2 地区 12 回参加者 134 名で実施

会計関係

① 全国会計打合せ会議

4 月 24 日(水) 全体会 参加者 54 名で実施

② 地区・支部会計打合せ会議

・ 14 地区 89 回 518 名	} 合計 220 回参加者 1,123 名で実施
・ 38 支部 131 回 605 名	

広報関係

① 公益社団法人 日本 3 B 体操協会機関紙 3 B ライフの編集・発行

毎月 (本部に於いて) 月間平均 45 ページ

② 広報編集会議

各地区に於いて 3 B ライフ掲載の記事及び地方紙の作成

・ 14 地区 102 回 447 名	} 合計 242 回参加者 838 名で実施
・ 26 支部 140 回 391 名	

コンピュータシステム関係

① 平成 26 年度よりの新システム導入に向けて

- ・ 会員管理システムの強化と教材・印刷物等の取扱い開始の為のシステム打合せ
- ・ 指導者証・会員証カード化への発行システム打合せとカードデザインの考案

平成 25 年度 3 B 用品等販売事業報告
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

体操に必要な用具・ウェア等を取り扱う事業

① 全国用品会議

地区用品担当者との販売促進の為に会議を実施

5 月 29 日(水)～30 日(木) 参加者 50 名

12 月 5 日(木)～ 6 日(金) 参加者 54 名

② 地区・支部用品会議

全国用品会議の内容を各地区・支部へ伝達

・ 13 地区 45 回 831 名

・ 36 支部 170 回 1,932 名

} 合計 215 回参加者 2,763 名で実施

③ 試着会

一般会員、指導者を対象に開催

・ 9 地区 40 回 1,146 名

・ 43 支部 505 回 18,551 名

} 合計 545 回参加者 19,697 名で開催

平成 25 年度 賃貸事業報告
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

① 3 B 体操会館の 4 階と 1 階、5 階の半分を(株)テル子コーポレーションへ継続賃貸

平成 25 年度 3 B 保険取りまとめ事業報告
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

① 3 B 体操を實踐中及び会場への往復途上中に起こる傷害事故に対応する補償制度と指導者において法律上の損害賠償責任が発生した事故に対応する保険の取りまとめ業務を行う

【業務内容】

- ・ 3 B 体操傷害補償制度、3 B 体操賠償責任保険の加入申込受付と 3 B 保険取扱い代理店への団体加入申込

<平成 25 年 1 月～12 月までの保険加入状況>

	保険種類	加入件数	補償制度料	補償制度加入料計	備 考
受講者 他	A 保険	33,303	月額 100 円	38,126,900	月 3 回以上
	B 保険	18,079	月額 50 円	9,968,050	月 2 回以下
	臨時保険	119,965	1 回 9 円	1,079,685	3 ヶ月以内の臨時教室 ・講習会等
	宿泊保険	1,190	1 泊 2 日 1 名 220 円～	257,254	宿泊数、人数により 金額変更あり
	ベビー保険	695	月額 50～100 円	116,600	
指導者	指導者保険	2,949	月額 270 円	9,149,580	新指導者は受講者期間に かけていた補償制度料の 残額を充当している
	賠償責任保険	3,011	月額 150 円	5,252,700	
	合 計	179,192		63,950,769	

なお、当事業は協会で行うため、毎年 12 月末時点での保険加入の総件数・総補償制度料に対して、翌年 1 月には団体割引相当分の事務手数料を受けることとなる。

・ 事故報告受付と 3 B 保険取扱い代理店への連絡確認等

【事故と保険会社からの保険金支払い状況 (1 月～12 月)】

受講生保険 事故件数 83 件 支払保険金 合計 5,793,500 円
指導者保険 事故件数 25 件 支払保険金 合計 1,120,000 円

・ 事故報告に基づく事故防止の広報と宣伝

受講生傷害保険の事故件数 83 件のうち、レッスン中のケガが 35 件。

レッスンの準備や片付け中の時間や往復途上での事故が 48 件。

指導者が事故が起きないように注意を払う意識をすることが事故防止につながる。

平成 25 年度 法人会計
(平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月)

① 理事会

臨 時 2 月 27 日(水) 出席者 12 名
第 1 回 3 月 6 日(水) 出席者 12 名
第 2 回 11 月 26 日(火) 出席者 11 名

② 定時社員総会

3 月 22 日(金) 出席者 73 名

③ 3 B 体操会館の維持管理

2 重要な契約に関する事項

該当なし

3 役員会等に関する事項 (理事会・社員総会等)

臨時理事会

日 時 平成 25 年 2 月 27 日(水) 11 : 15 ～ 11 : 35
議 題 1. 役員人事について

第 1 回理事会

日 時 平成 25 年 3 月 6 日(水) 10:00 ～ 12:20
議 題 1. 役員人事について
2. 第 1 期(平成 24 年 5 月～12 月) 事業報告(案)
3. 第 1 期(平成 24 年 5 月～12 月) 決算報告(案)
4. 定款変更案
5. 役員報酬について

第 2 回理事会

日 時 平成 25 年 11 月 26 日(火) 10:00 ～ 12:15
議 題 1. 役員人事について
2. 第 3 期(平成 26 年 1 月～12 月) 事業計画(案)
3. 第 3 期(平成 26 年 1 月～12 月) 収支予算(案)
その他 ・ 弔慰金についての内規(案)
・ 全レク福岡について

定時社員総会

日 時 平成 25 年 3 月 22 日(金) 10 : 30 ～ 13 : 20
議 題 1. 第 1 期(平成 24 年 5 月～12 月) 事業報告(案)
2. 第 1 期(平成 24 年 5 月～12 月) 決算報告(案)
3. 定款変更案
4. 役員人事について

4 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移（全国本部）

単位：百万円

事業年度	21年	22年	23年	24年	24年	25年
	12月期	12月期	12月期	4月期	12月期	12月期
前期繰越 収支差額	213	266	(※)274	141	274	95
当期収入 合計	1,269	336	1,354	353	175	230
当期支出 合計	1,216	399	1,487	220	350	198
当期支出 差額	53	△63	△133	133	△175	32
次期繰越 収支差額	266	203	141	274	99	127
資産合計	1,004	986	949	969	1,122	1,046
負債合計	93	87	111	64	237	190
正味財産	911	899	838	905	885	856

(※) 前期よりの収支差額の違算の原因は、弔慰預り金を流動負債より固定負債に変更した為

Ⅲ 法人の課題

該当なし

Ⅳ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事項

該当なし